

個人山行

北海道：利尻島 礼文島

◆日程 2018年10月2日(火)～4日(木)

◆メンバー L：渡辺 豊

10月の利尻島・礼文島を訪れてみました。

- 目的 ①利尻山のラフスケッチをする。
②利尻島・礼文島の自然にふれる。

10月2日(火) 天候：晴

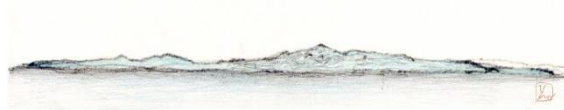
風が強烈! 宗谷岬につづく宗谷丘陵は強風地帯。風力発電の白い風車が沢山立っていた。

大きな牧場 宗谷丘陵は丸ごと大きな牧場になっている。黒い肉牛がのんびりと草を食べていた。宗谷牛というらしい。エゾシカも のんびりと牧草を食べていた。野生のシカです。念の為。

CT：羽田 11:00 - 稚内 13:00 - 宗谷岬 - ホテル 17:00



サハリン 樺太



礼文島

10月3日(水) 天候：晴

荒れる海 フェリーが大きく揺れる。手すりにつかまらなると歩けない。船酔いでもどしている人もいた。稚内港にイカ釣り漁船が何艘も停泊していたが、漁をする漁船はどれだけ揺れることだろう。「船底1枚、下は地獄」というけれど、「漁をする」ということは命がけだ。

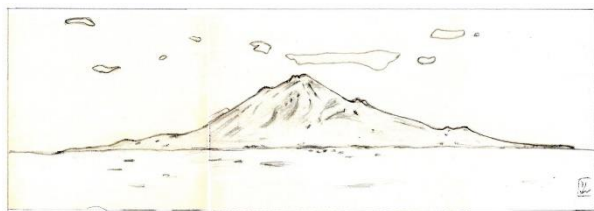
白い恋人 北海道定番中の定番のお土産。パッケージには、利尻山が描かれています。初めて知りました。皆さんは気づいていましたか。

CT：稚内港 6:30 - 礼文島(澄海岬・スコトン岬) - 利尻島 14:00 (姫沼・オタトマリ沼・仙法志御崎公園) - ホテル 17:30

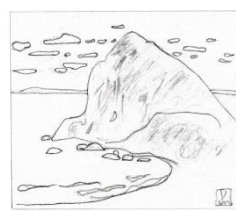
10月4日(木) 天候：晴

なにか温かい 早朝、女子従業員がホテルの前を掃き掃除していた。後ろ姿がおおらかだった。かもし出す空気が温かかった。そうか掃除ってこんな風にやるものだったんだ。コンビニの店員さん。利尻とろろこんぶの売り子さん。船客のはいた汚物の後始末をしていた船員さん。最果ての地に住む人に生きることのおおらかさと温かさをみた。自分の生活を思い返してハツとした。
(記：渡辺 豊)

CT：鴛泊港 8:50 - 稚内港 10:30 - 稚内空港 13:30 - 羽田 15:30



利尻山 1721m



ペシ岬(鴛泊)